

埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.6

め かる こ ぼ ぐん きた ち く
銘苅古墓群北地区・

きゅう あめ く むら ふる い ど
旧天久村古井戸遺跡



1997年3月

那覇市教育委員会

銘苧古墓群北地区・旧天久村古井戸遺跡

(1) はじめに

那覇市は、沖縄本島の南西部に位置し、人口約30万人を数える県下第一の都市です。東シナ海に面する市街地は標高2～10m前後の低地となっており、その周囲を天久台地、首里台地、識名台地、小禄台地が取り囲んでいます。

本市北西部の天久台地を中心とする地域に、「天久解放地」と呼ばれる214ヘクタール(約60万坪)の広大な土地があります。この土地は、1953年に米軍の基地(主に住宅施設)として接収された地域で、市民生活と長い間切り離されてきました。その後、1973年に返還が合意されました。

現在は、区画整理事業が進められており、「那覇新都心」として生まれ変わりつつあります。

ところで、この地域に新しい街づくりが進められる以前の1988年から1989年にかけて、文化財の事前調査が本市教育委員会によって実施されています。その結果、数多くの遺跡(埋蔵文化財)が確認されました。

その事前調査にもとづいて、本市教育委員会では、区画整理事業を進めている「地域振興整備公団」から委託を受けて、1990年7月

から本格的な発掘調査を開始しました。

現在では、先史時代から近世までの12遺跡が確認されています(第1図)。

今回は、「銘苧古墓群北地区」と「旧天久村古井戸遺跡」について紹介します。

(2) 銘苧古墓群北地区の概要

銘苧古墓群北地区は、字安謝(小字東原)と字銘苧(小字港川・直禄原)一帯に所在する遺跡です。1993年から1995年にかけて調査を行いました。

本古墓群は、解放地内を南北に流れる多和田川沿いに位置し、川の両岸に露頭する琉球石灰岩地帯に形成されていました。現在、A地区からD地区までの4地区において合計93基確認されています(第2図)。

墓の種類としては、琉球石灰岩を掘り込んだ掘込墓や岩陰の前面を石積みによって囲いだんだ囲込岩陰墓などがみられます。

発掘調査では、墓室を二度にわたって造り変えた墓や、沖縄の民家によく見られる屏風状の塀(方言でヒンプンと呼ばれている)を設けた墓(第3図)など、さまざまなタイプが確認されました。

一方、得られた資料には、蔵骨器(厨子甕)

発掘調査ニュース

の他に、陶磁器、指輪、キセル、かんざしなど多種・多様な遺物があります。

今後、これらの資料を細かく分析することによって、本古墓群の詳細が一層明らかになるものと考えられます。

(3) 旧天久村古井戸遺跡の概要

旧天久村古井戸遺跡は、字天久（小字天久原・水留原一帯）に所在する遺跡です。1995年3月に調査を行いました。

井戸跡は、国道58号線沿いの「ホテルエッカ」付近から東側へ200～300mほど入ったところで、4基発見されました（第1図）。

いずれも直径5m前後を測る円形の石組みで構築されており、豊富な水量が貯えられていました。

4基の中で、保存状態が良好な第4号井戸跡について内部の調査を行った結果、地表から井戸底までの深さは、約12～13mを測ることが分かりました。

内部には、琉球石灰岩の石組みが12段（約2～3m）ほど積み上げられており、その下は基盤である灰褐色土（方言でクチャと呼ばれている）に達していました。また、水がその境界付近からしみだして、井戸底に溜まる様

子も確認できました。

一方、得られた資料には、沖縄産の陶器や赤瓦と混在して、中国産の青磁なども僅かながらみられました。

今後は、資料の分析を行うと同時に、本遺跡と「旧天久村」との関連性について、検討する必要があると考えられます。

(4) おわりに

今回までの埋蔵文化財発掘調査ニュース（No.1～No.6）によって解放地内における10遺跡を紹介したことになります。

同地区内の遺跡分布をみると、多くは銘苅川・大湾川・多和田川などの河川沿いに立地していることが分かります（第1図）。

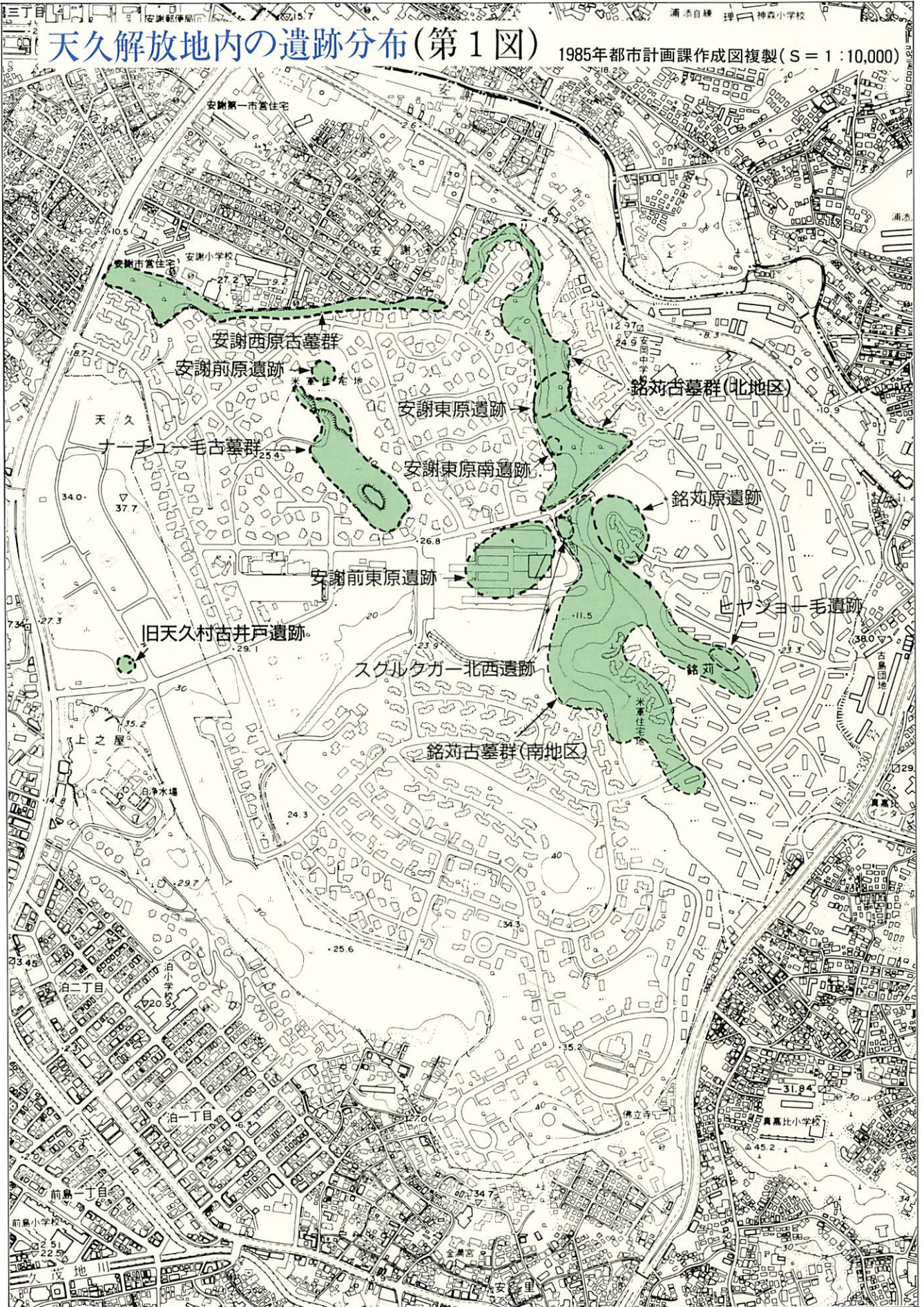
その河川の周辺には、いくつかの湧水がみられることから、人々の生活と水場の密接な関係が窺えます。

水の確保は、現在の沖縄にとっても深刻な問題の一つです。私たちは、先人たちが残した足跡（遺跡）から、その知恵や工夫を学び、現在に活かして行くことが大切です。

文化財は、私たちの身近に数多くみられます。今後、注意深く観察してみたいでしょうか。

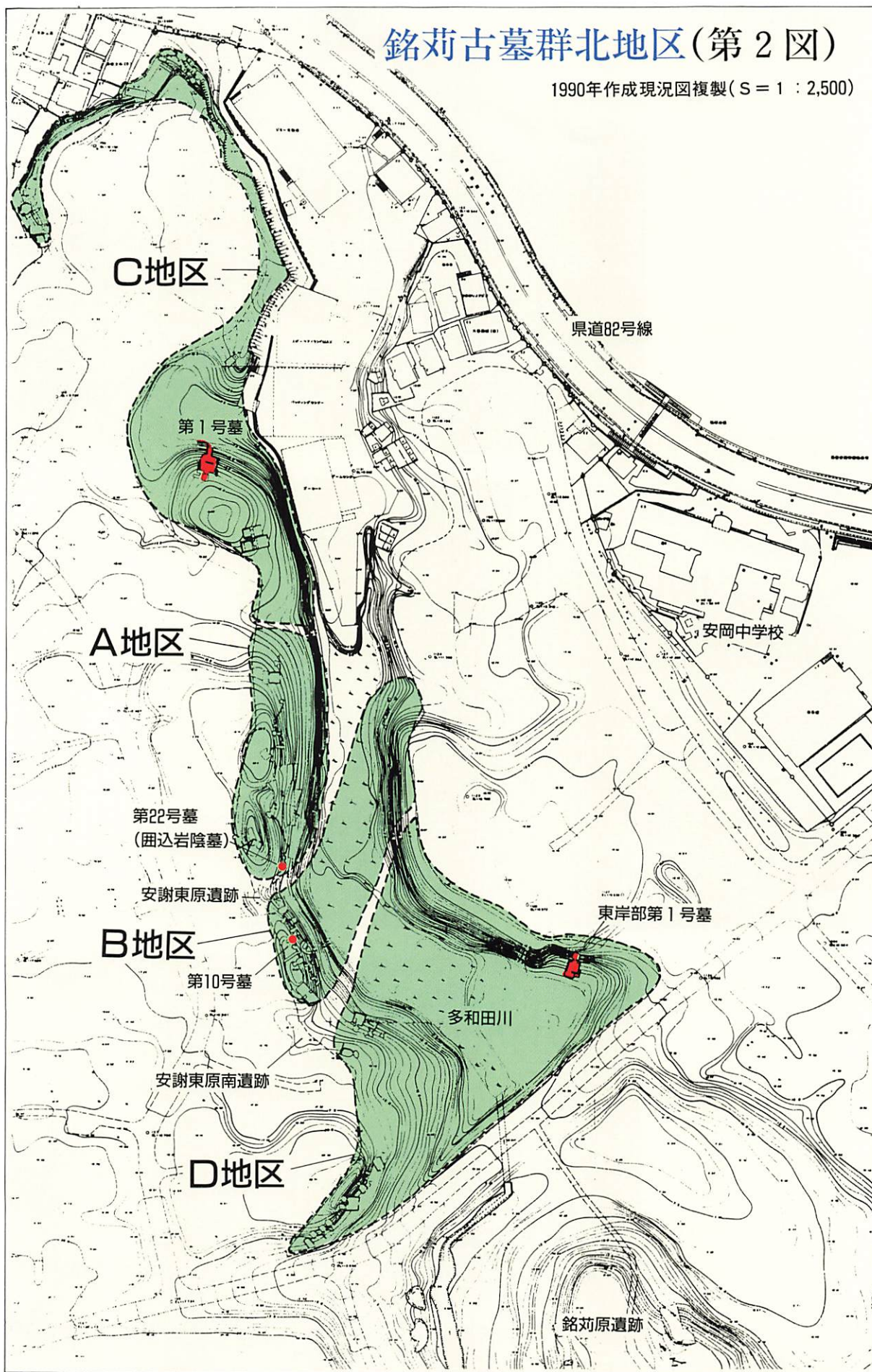
天久解放地内の遺跡分布(第1図)

1985年都市計画課作成図複製(S = 1:10,000)

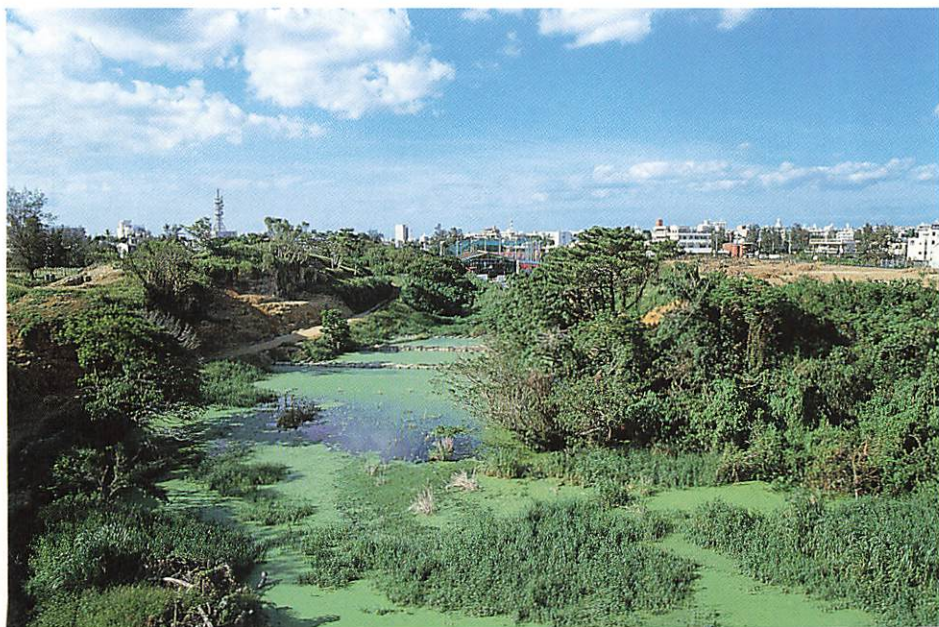


銘苧古墓群北地区(第2図)

1990年作成現況図複製(S=1:2,500)



銘苅古墓群北地区



遺跡遠景（南東から）



遺跡近景（北西から）



罎込岩陰墓
(A地区第22号墓)



墓室内の状況
(B地区第10号墓)



発掘調査の状況
(C地区第1号墓)



調査後の掘込墓
(D地区東岸部第1号墓)

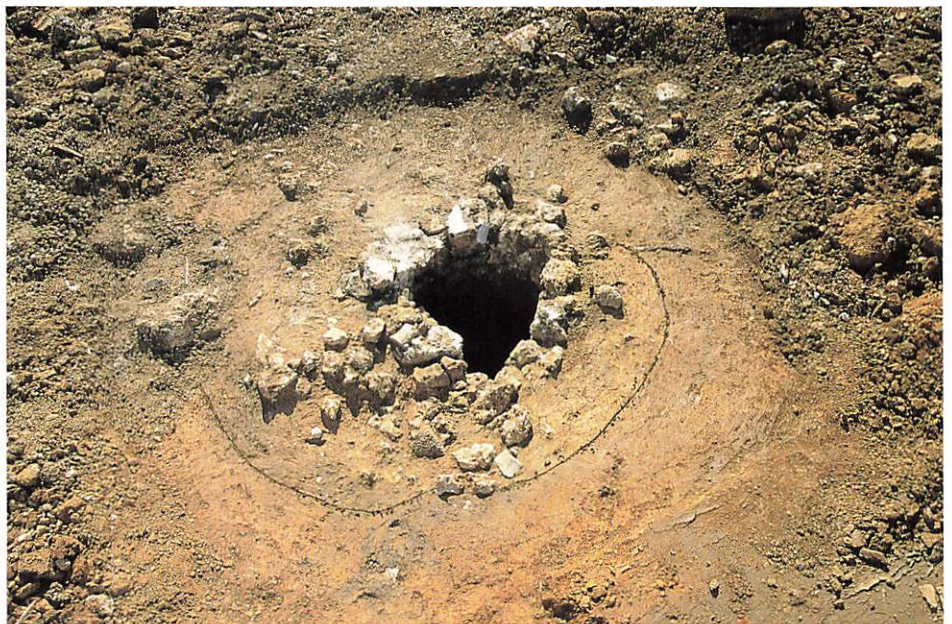
旧天久村古井戸遺跡



遺跡遠景



発掘調査の状況
(第3号井戸)



調査後の状況
(第1号井戸)



井戸の内部状況
(第2号井戸、水を貯えている)

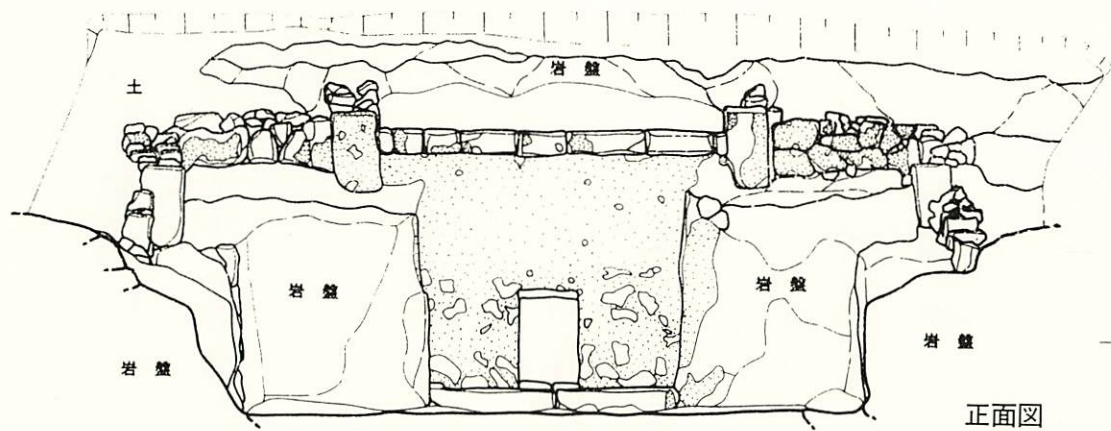


井戸周縁の状況
(第4号井戸石敷)

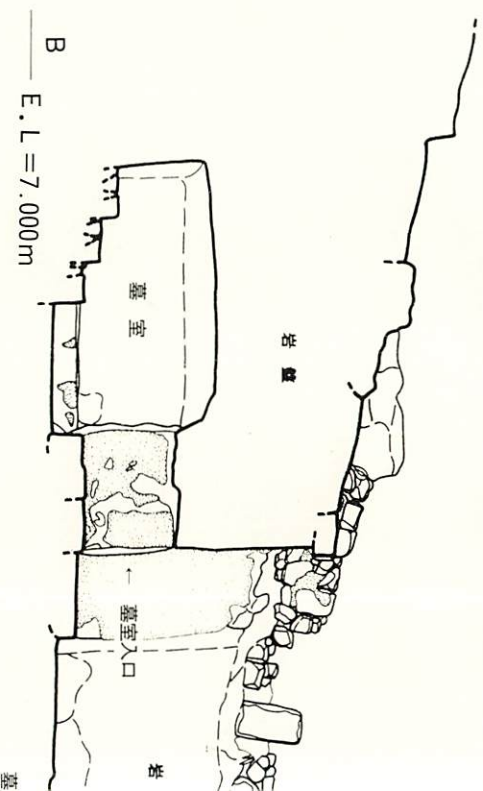
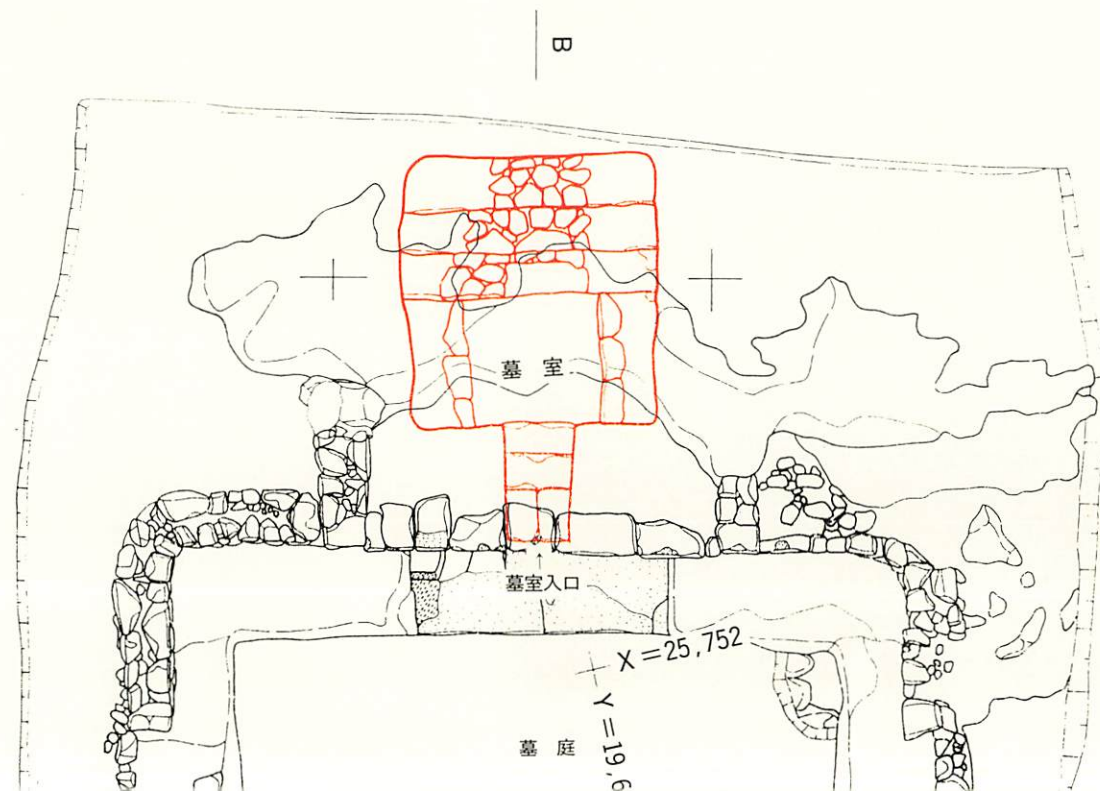


井戸の内部状況
(第4号井戸、水を抜いた後)

銘苧古墓群北地区 (C地区) 第1号墓実測図(第3図) (S=1:80)

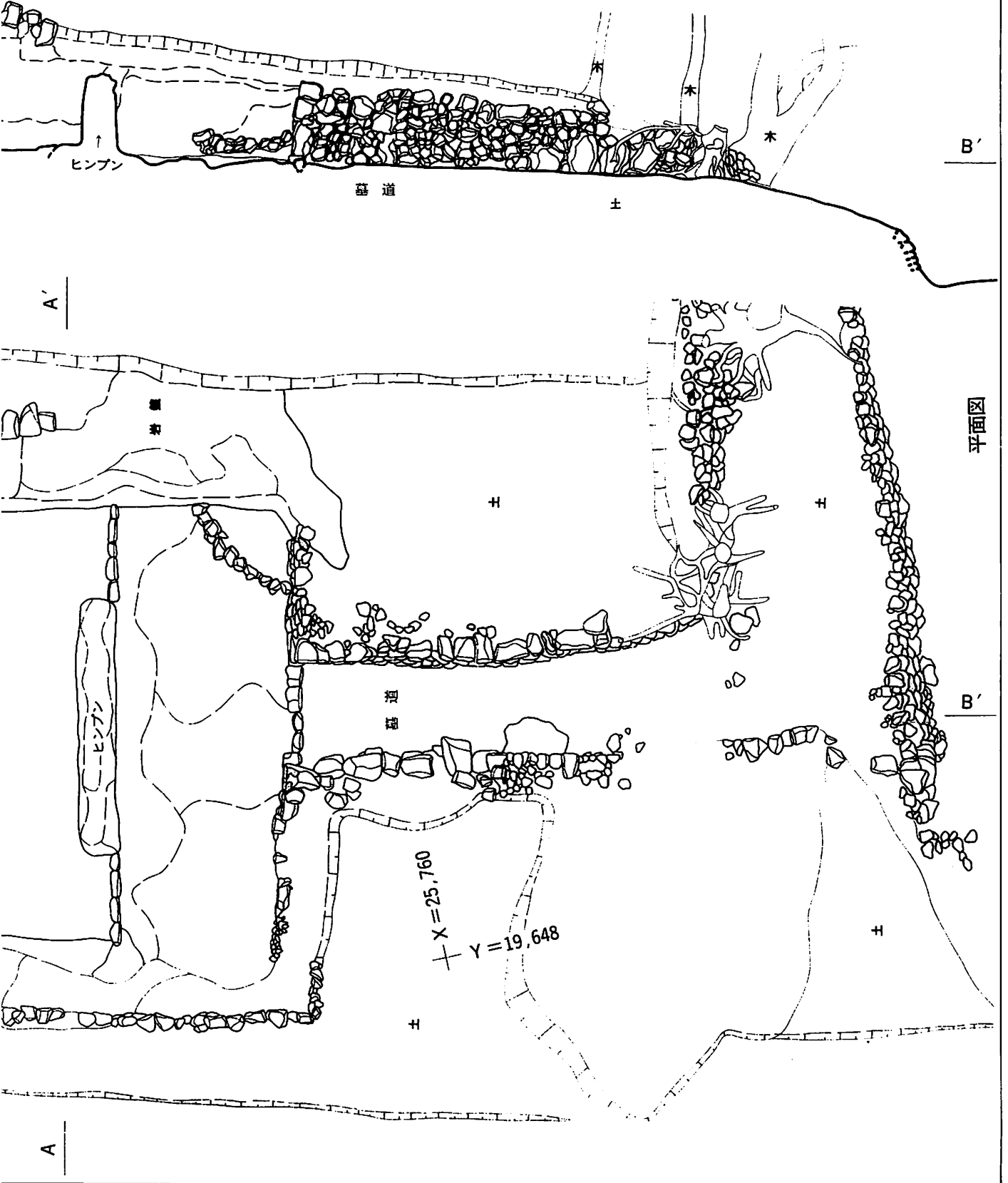


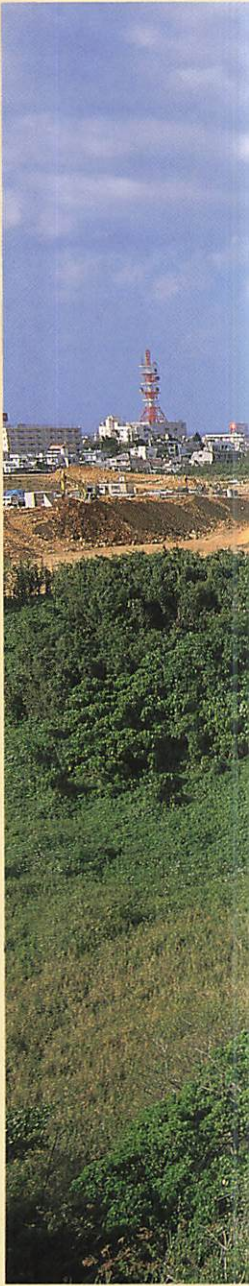
A' E. L = 8.000m



断面見通し図

凡	例
築	破
セ	メント





発行／那覇市教育委員会 〒900 沖縄県那覇市樋川12-8-8
TEL (098) 853-5775
編集／那覇市教育委員会文化課
印刷／文進印刷株式会社